

### 「実務適用が広まったデジタル・フォレンジック」 - 事例・実務紹介から学ぶ -

12/12(月) ①基調講演 ②省庁講演 ③「法務・監査」研究会 ④招待講演  
⑤交流会

12/13(火) ①国内事例報告 ②海外事例報告 ③「技術」研究会 ④「医療」研究会

2010年秋季以来、尖閣ビデオ流出事件、FD改竄事件、大相撲八百長事件、そして東日本大震災での水没で損傷を受けた大量のパソコンやサーバーからのデータ復旧等の各局面でデジタル・フォレンジック専用機材や専用ソフト、そして専門スキルが求められ、使われ、成果を上げて参りました。また、国際カルテルや外国企業の収賄事件に対する欧米当局の取り締まりや製品安全の不具合、顧客情報漏洩等の不祥事に対する係争の当事者に我が国の企業がなるという法的リスクは一層厳しさを増してきております。

このような事件、災害での電磁的データの調査・解析、復旧や係争に備えたり、経営判断に繋がる事実・実態確認のためにデジタル・フォレンジックは益々必要となって参りました。

コミュニティ2011では、事例・実務でのデジタル・フォレンジック適用を多くご紹介すると共に研究会での検討と共に適用や活用について考えて参ります。

- 主催： 特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会  
デジタル・フォレンジック・コミュニティ 2011 実行委員会 会長(実行委員長) 佐々木 良一(東京電機大学 教授)
- 後援： 情報セキュリティ政策会議／警察庁／金融庁／総務省／法務省／外務省／厚生労働省／経済産業省／防衛省／海上保安庁／(財)社会安全研究財団／(財)日本情報経済社会推進協会／(独)情報処理推進機構／JPCERT コーディネーションセンター／日本セキュリティ・マネジメント学会／警察政策学会／法とコンピュータ学会／情報ネットワーク法学会／NPO 日本ネットワークセキュリティ協会／NPO 日本セキュリティ監査協会／NPO IT コーディネータ協会／日本公認不正検査士協会 (ACFE JAPAN)／ISACA (情報システムコントロール協会) 東京支部／公益財団法人金融情報システムセンター／情報セキュリティ大学院大学／中央大学研究開発機構／(株)日本政策投資銀行
- 協賛企業： (株)フォーカスシステムズ／(株)UBIC／(株)くまなんピーシーネット／サン電子(株)／ネットエージェント(株)／日経 SYSTEMS／AOS テクノロジーズ(株)／(株)ゲネシスコンマース／デロイト トーマツリスクサービス(株)／(株)サイバーディフェンス研究所／ベイシス・テクノロジー(株)／(株)ワイ・イー・シー／デロイト トーマツ FAS(株)／(株)オーク情報システム／(株)ラック／NTT データ先端技術(株)／NRI セキュアテクノロジーズ(株)／SCSK(株)／(株)ピーシーキッド／(株)Ji2／(株)NTT データ／(株)ディアイティ／ハミングヘッズ(株)／Payment Card Forensics(株)
- 募集中
- 協力団体： 情報セキュリティワークショップ in 越後湯沢 実行委員会  
サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム 実行委員会

- 会場： 「ホテル グランドヒル市ヶ谷」(東京都新宿区市ヶ谷) <http://www.ghi.gr.jp/>
- 参加費： [デジタル・フォレンジック研究会会員 ¥10,000-][一般参加 ¥15,000-][学生(社会人を除く) ¥5,000-]
- 募集定員： 260名 ※申込締め切り 平成 23 年 12 月 2 日(金) 但し、定員になり次第締め切ります。
- お申し込み： [WEB からお申し込み] <https://www.digitalforensic.jp/community/2011/com11.html>  
[FAX でのお申し込み] 申込用紙は WEB からダウンロードして下さい。
- お問い合わせ： 特定非営利活動法人 デジタル・フォレンジック研究会事務局  
〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-23-1 フォーカス五反田第 2 ビル 6F  
[電話] 03-5420-1805 [FAX] 03-5420-3634 [E-mail] info@digitalforensic.jp

■参加者特典■： 「日経 SYSTEMS」の 1 年(12 冊)無料購読をお申込み頂けます。

■ポイント対象■： 公認不正検査士(CFE)の継続的専門教育(CPE)の対象となります。

IT コーディネータの運用ガイドラインに準じ、4 時間 1 ポイント(対象最大 12 時間 40 分)を付与します。

ISACA 認定資格(CISA/CISM/CGEIT/CRISC)は 50 分 1CPE(対象 10 時間 35 分)となります。

# 第8回 デジタル・フォレンジック・コミュニティ 2011 in TOKYO

【プログラム】 講演会場：瑠璃中・西の間 (3F) 製品展示コーナー：珊瑚の間 (3F) 交流会場：白樺の間 (2F)

12月12日 (月)		12月13日 (火)	
09:50~10:00 開会挨拶	佐々木 良一 デジタル・フォレンジック研究会 会長 東京電機大学 未来科学部 情報メディア学科 教授	10:00~10:50 国内事例報告	「デジタル・フォレンジック活用の現場から」 上原 豊史 (株)KPMG FAS ディレクター
10:00~10:50 基調講演	「災害時における情報システムの役割と 証拠性の保全」 渡辺 研司 名古屋工業大学大学院 工学研究科 社会工学専攻 教授	休憩 10分	
11:00~11:50 省庁講演	「証券取引等監視委員会における デジタル・フォレンジックへの取り組み」 皆山 寛之 金融庁 証券取引等監視委員会 特別調査課 情報技術専門官	11:00~11:50 海外事例報告	「米国判例 -非米国企業の文書に対する 開示請求の承認-」 隈元 則孝 シン普森 サッチャー アンド パートレット 外国法事務弁護士事務所 弁護士
休憩 10分		昼食・休憩 85分	
13:30~15:45 「法務・監査」 研究会	「情報処理の高度化等に対処するための 刑法等の一部を改正する法律の影響と課題」 司会：小向 太郎 (株)情報通信総合研究所 法制度研究グループ 部長 兼 主席研究員 パネリスト： 石井 徹哉(千葉大学 法経学部 教授) 「実体法規定と論点」 安富 潔(慶應義塾大学大学院 法務研究科 教授) 「手続法規定と論点」 西川 徹矢(前内閣官房副長官補) 「サイバー犯罪に関する国際対応」 小山 覚((株)NTTPCコミュニケーションズ カスタマサービス部 部長) 「改正法の実務的課題」	13:15~15:15 「技術」 研究会	「重要性を増すデジタル・フォレンジック技術 -推進強化される背景にあるものとは-」 司会：名和 利男 (株)サイバーディフェンス研究所 情報分析部 部長 「証拠保全ガイドライン第1版の改訂主旨について」 パネリスト： 森 滋男 次長、鎌田 敬介 (株)三菱東京UFJ銀行 システム部 システム企画室 「サイバー攻撃対応とデジタル・フォレンジックの取り組み」 雲田 陽一(警察庁 刑事局 組織犯罪対策部 国際捜査管理官付 課長補佐) 「国際刑事警察機構における情報通信技術の活用」
休憩 25分		休憩 15分	
16:10~17:00 招待講演	「FCPA(外国公務員等贈賄)違反への対処 -デジタル・フォレンジックも踏まえた調査と対応-」 山田 裕樹子 西村あさひ法律事務所 弁護士	15:30~17:30 「医療」 研究会	「個人情報保護法制における医療分野 個別法の在り方について」 司会：中安 一幸 (厚生労働省 政策統括官付社会保障担当参事官室室長 補佐、北海道大学大学院保健科学研究院 客員准教授) パネリスト： 秋山 昌範(東京大学 政策ビジョン研究センター 教授) 野津 勤((株)システム計画研究所 特別顧問) 佐藤 智晶(東京大学 政策ビジョン研究センター 特任助教)
17:15~19:00 交流会	講師及び参加者の交流会 ※会費¥1,000-(コミュニティ参加費とは別途頂きます。) 軽食が用意されております。ゲストスピーチもございます。	総合司会：舟橋 信 ((株)セキュリティ工学研究所 取締役)	

講師、講演内容については、都合により変更する場合がございます。最新情報につきましては、ホームページをご確認下さい。  
<http://www.digitalforensic.jp>

**製品展示コーナー**  
12日(月) 12:00~18:00 / 13日(火) 9:00~14:00  
協賛企業のフォレンジック製品、セキュリティ製品の展示及び説明を各ブースで行います。  
※ご協賛2口以上でブースをご提供しております。



交通のご案内	電車利用 ●JR 総武線・地下鉄有楽町線・南北線・新宿線 『市ヶ谷駅』より徒歩 3分 ●JR 総武線・中央線・地下鉄丸ノ内線・南北線 『四ツ谷駅』より徒歩 10分 自動車利用 ●首都高速 4号新宿線 外苑ランプより 15分 ●首都高速 5号池袋線 飯田橋ランプより 10分 グランドヒル市ヶ谷に駐車場(95台)はございますが、ご利用の際は、空き状況と同ホテルにご確認下さい。
宿泊について	グランドヒル市ヶ谷に宿泊を希望される方は、各位にて「宿泊フロント係」まで、お早めにお申込みをお願い致します。 ☆シングルルーム/1泊 ¥11,000-(税込み)



「特定非営利活動法人 デジタル・フォレンジック研究会」